

先端創薬シンポジウム in 長崎大学

～挑戦：長崎から世界へ～

長崎大学は平成24年1月に先端創薬イノベーションセンター（NU-MIC）を設立しました。同センターの基礎創薬部門では、平成22年度文部科学省最先端研究基盤事業「化合物ライブラリーを活用した創薬等最先端研究・教育基盤の整備」が採択され、「感染症・放射線障害を中心とする下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬拠点」を構築しております。更に、平成24年度から5年間にわたりプラットフォーム事業を推進し、創薬拠点としての役割を果たしてまいります。また、治験部門では長崎大学病院治験管理センターを臨床研究センターへと改組し、臨床研究を深化させます。

これらの動きは長崎大学が一丸となり、創薬に取り組む姿勢を明確にしたものです。この機会をとりえ、長崎大学における創薬活動の現状を見つめ直し、それを足がかりに創薬活動の活性化を図ることを目指し、本シンポジウムを開催します。

日時：平成24年7月12日(木) 13:00～17:30

会場：薬学部2階多目的ホール

次第：

1. ご挨拶 (13:00-13:10)

長崎大学 学長 片峰 茂

2. 基調講演 (13:10-14:10)

(1) 医療イノベーションの夜明け：内閣官房 医療イノベーション推進室 企画官 八山幸司

(2) 先端創薬：ベンチャー企業としての取り組み例：(株)レクメド社長 松本 正

3. 長崎大学の取り組み (14:10-14:55)

(1) NU-MICの設置：NU-MICセンター長 畑山 範

(2) 最先端研究基盤事業「化合物ライブラリーを活用した創薬等先端研究・教育基盤の整備」：医歯薬学総合研究科教授 植田弘師

(3) 臨床研究センターの新設～臨床研究の強化に向けて～：臨床研究センター長 福島千鶴
休憩 (14:55-15:05)

4. 長崎大学における先端創薬の事例 (15:05-16:35)

(1) HTLV-1関連脊髄症の治療剤の開発 医歯薬学総合研究科准教授 中村龍文

(2) 新たなDDSと組み合わせたDNAワクチンの開発 熱帯医学研究所教授 平山謙二

(3) 海洋天然物ラメラリンをモデルとする新規抗癌活性物質の開発 工学研究科教授 岩尾正倫

5. パネルディスカッション (16:35-17:30)

長崎大学における先端創薬～挑戦と課題～

モデレーター：長崎大学理事 調 漸

パネリスト（敬称略）：八山幸司、松本 正、中村龍文、平山謙二、植田弘師

6. 主催・共催

主催：先端創薬イノベーションセンター(NU-MIC)、産学官連携戦略本部、研究推進戦略室

共催：長崎大学病院、医歯薬学総合研究科、

下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター、

感染症・放射線障害を中心とする下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬拠点事業部



申込は、参加者氏名、所属、連絡先住所、電話番号&メールアドレスを記入の上、メール又はFaxでお願いします。

メールアドレス：nu_mic@ml.nagasaki-u.ac.jp、Fax:095-819-2189

問い合わせ先：長崎大学・先端創薬イノベーションセンター・創薬支援室

Tel：095-819-2230（担当：梅津）